

調査事項に係る資料

○生駒市医療のまちづくりビジョンの策定について

- ・パブリックコメント結果 （資料1-1）
- ・生駒市医療のまちづくりビジョン （資料1-2）

○令和8年度生駒市立病院事業計画について

- ・令和8年度生駒市立病院事業計画書 （資料2-1）
- ・令和8年度生駒市立病院事業計画書説明資料 （資料2-2）

パブリックコメント結果

資料 1 - 1

1 パブリックコメントの概要

【意見募集の内容】

- 実施時期：令和7年12月18日(木)～8年1月19日(月)
- 公表方法
 - ・市ホームページ
 - ・公共施設への備付け
市役所（情報公開コーナー、地域医療課窓口）コミュニティセンター、北コミュニティセンターISTAはばたき、南コミュニティセンターせせらぎ、たけまるホール、図書館、鹿ノ台ふれあいホール
 - ・広報12月号
 - ・地域医療課X
- 意見の提出方法：持参、郵送、ファクス、ホームページ入力フォーム
- 案の持ち帰り数（公共施設備付け分）：27部
- ホームページ閲覧件数：187件

【意見募集の結果】

- 意見提出者：市民等5名、市議会議員2名
- 意見提出件数：19件
- 意見提出方法：持参1件、入力フォーム4件

2 生駒市医療のまちづくりビジョン(案)に対する意見と本市の考え方

No.	意見箇所		意見の概要	意見に対する本市の考え方	修正箇所	修正内容
1	厚生文教委員会	2ページ	はじめに 【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】 ○ビジョンの位置づけ	生駒市病院事業計画、健康いこま21、障がい者福祉計画など、本市の計画のホームページに誘導するため、2次元コードを掲載してはどうか。	各種計画にアクセスしやすいように、巻末資料に2次元コードを掲載します。	2ページ33行目 29ページ（巻末資料） 2ページに巻末資料で詳細説明を記載していることを追記します。 巻末資料に2次元コードを掲載します。
2	厚生文教委員会	19ページ	第3章 1-(3)発達障がいなどへの対応 ほか	「発達障がい」という言葉は、当事者の親などは、病气と認識している人が少ない。「神経発達症」と言われているので、言い換えてはどうか。	世界保健機構が公表する最新の国際疾病分類（ICD-11）において、「発達障がい」の分類が改定され、「神経発達症」に分類されたとの厚生労働省の調査で明らかにされており、日本語の表記は未発表ですが、今後「神経発達症」が使われていくことが予想されます。よって、まだ認知度が低いですが、将来を見据えて本書「発達障がい」の表記を変えます。	1ページ7行目 6ページ4行目 17ページ2行目・21行目 19ページ8行目・27行目・31行目 「発達障がい」を「発達障がい（神経発達症）」と表記します。

No.	意見箇所			意見の概要	意見に対する本市の考え方	修正箇所	修正内容
4	パブリックコメント		全体	日々大変ご苦労様です。医療、介護、福祉等守っていくこと、大変なことだと思います。生駒市だけの努力では、難しいことも多いと考えます。国の社会保障の動きに影響されると考えます。生駒市として、医療や介護、福祉などの国の予算を削減しないように要望していただくことが大事と考えます。	医療、介護、福祉など各分野の関係者が課題を共有し、連携しながら課題解決に向けて取り組み、医療のまちづくりを推進します。また、ご意見のとおり、医療、介護、福祉の予算が削減されないことが大事と考えており、国の補助金などの情報を収集するとともに、緊急対策支援策などの機会を捉えて、関連する施策に活用できる予算を積極的に要望してまいります。	原案のとおりとします	—
5	パブリックコメント	1ページ	はじめに 第4段落の2行目	課題とあるが、何についての課題かわからない。医療や医療に関連した分野（もしくは、医療が関わる分野）の課題としてはどうでしょうか。	医療のまちづくりビジョンは医療に係る現状、課題及びその解決策を整理しています。各項目についても「医療」について記載したものですので、改めて記載することは考えていません。	原案のとおりとします	—
6	パブリックコメント	1ページ	はじめに 【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】	「○医療のまちづくり推進に当たっての基本理念」は「○重点的に取り組むべき医療課題」の前に記載すべきではないでしょうか。	ご意見のとおり、記載順序を変更します。また、文言を整理します。	1ページ28～38行目	次のとおり表記します。 ○医療のまちづくり推進に当たっての基本理念 ●社会変化や地域課題に対応し、チャンスに変える変革精神 ●市民や地域社会に対する発信と広聴を通じた積極的なコミュニケーション ●医療関係者、市民や地域との本気の協創 ○取り組むべき課題と具体的な対応 ●市民が安心して子を産み育てる環境を支える医療 ●人生を通じて、健康について学び、実践する市民を増やす予防医療 ●高齢化に伴う医療需要の変化や増大に対応する医療 ●災害等の有事に市民の命を守る医療 ●これらの課題に適切に対応する医療人材・設備等の体制整備

No.	意見箇所		意見の概要	意見に対する本市の考え方	修正箇所	修正内容	
7	パブリックコメント	1ページ	はじめに 【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】 ○医療のまちづくり推進に当たっての基本理念	「○医療のまちづくり推進に当たっての基本理念」の3つの箇条書きの意味がよく分かりません。 第2章 これからの医療のまちづくりを進めるための基本理念の所も不可解です（SDGsへの対応、市民や地域との連携は不要では？、最先端の医療技術や設備に対する知見と整備は病院事業計画に入れる内容では？等々）。 基本理念は下記のようなものではないかと思えます。 ご検討ください。 ①だれ一人取り残さない ②患者を含む市民を中心に考える ③関係者間の協力と連携により推進する ④疾病に対する適切な医療が提供されるまちの実現を前提としつつ、予防医療をまちづくりの中心に据える ⑤評価指標を設定し、目標の達成に向けて取り組む	第2章の基本理念は、予測される社会情勢の変化や課題に対し、幅広い分野の関係者が解決に向けた方向性について共通認識を持って、まちづくりを行うことを想定しています。	原案のとおりとします	—
8	パブリックコメント	1ページ	はじめに 【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】 ○重点的に取り組むべき医療課題	第3章に重点的に取り組むべき医療課題と具体的な対応をまとめてはどうでしょうか。 内容としては案の第3章には医療に関する対応だけでなく、医療に関連した分野の課題に対する対応も記載されています。加えて、案第2章にも対応についての記載があります。案の2章と3章から、重点的に取り組むべき医療課題への具体的な対応を取り出すとよいと思えます。	医療のまちづくりビジョンは、医療、介護、教育などさまざまな分野の意見を集約して、とりまとめたものであり、個々の取組について関係者が各々連携して取り組んでいくこととしていますので、重点的に取り組むべき医療課題への具体的な対応を取り出すものではありません。	原案のとおりとします	—
9	パブリックコメント	1ページ 19ページ	はじめに 【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】 第3章	「○重点的に取り組むべき医療課題」の後に「社会変化や医療に関連した分野の課題」をまとめてはどうでしょうか。 項目としては（案の第3章 5の地域医療提供体制の整備を除き） ●少子化及び支援の必要なこどもの増加への対応 ●健康寿命の延伸への対応 ●高齢化及び医療・介護ニーズの高い方への対応 ●災害リスクへの対応	「○重点的に取り組むべき医療課題」にご意見の項目については、包含していると考えます。	原案のとおりとします	—

No.	意見箇所		意見の概要	意見に対する本市の考え方	修正箇所	修正内容	
10	パブリックコメント	2ページ	はじめに【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】○ビジョンの位置づけ	1行目、「本ビジョンは…連携して取り組むこととしています。」を「本ビジョンは…連携して取り組む方向性や具体策を示しています。」としてはどうでしょうか。	取り組む方向性や具体策の提示だけでなく、「行動する」という姿勢を示すため原案の表記としています。	原案のとおりとします	—
11	パブリックコメント	2ページ	はじめに【生駒市医療のまちづくりビジョンの概要】○ビジョンの位置づけ	「医療分野の視点」⇒単に「医療の視点」でよいのではないのでしょうか。	より分かりやすく表現するために、ご意見のとおり修正します。	2ページ7行目	「医療分野の視点」を「医療の視点」とします。
12	パブリックコメント	3ページ	第1章 これからの10年で生じる大きな環境の変化と課題	合計特殊出生率の説明が必要では。合計特殊出生率は、一人の女性が一生の間に産む子供の数ということが分かりますよと思います。	図表2の出典先でもある、生駒市こども計画で説明する合計特殊出生率の用語説明を追記します。	3ページ19行目	※合計特殊出生率とは、人口に対して生まれたこどもの数を表す指標の一つです。その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間にこどもを生むとしたときのこどもの数に相当し、人口動態の出生の傾向をみるときの主要な指標となっています
13	パブリックコメント	4ページ	第1章 これからの10年で生じる大きな環境の変化と課題(図表3)	有職者の数を入れている理由は。女性の社会進出も少子化の要因の一つであることを示すためであれば、図表に出生数に対する有職者の割合を入れ、説明文にも有職者と関連した記載があった方がよいと思います。単に出生数が減っていることを示すのであれば、有職者は不要では。	図表3は、出生数の減少傾向を示すため表記しています。また、妊娠、出産について女性を取り巻く現状を把握するため、参考として初妊娠と有職者の数値を表記しています。	原案のとおりとします	—
14	パブリックコメント	8ページ	第1章 これからの10年で生じる大きな環境の変化と課題(図表10)	健康寿命と65歳平均自立期間は同じでしょうか。65歳平均自立期間の意味がよく分かりません。説明の記載をお願いします。	健康寿命の算定にあたっての始期として、65歳から何年間自立した生活ができるのかを表しています。図表10の出典である健康いこま21の説明を追記します。	8ページ4行目	※65歳以上平均自立期間は、奈良県が算出する、65歳平均余命から平均要介護期間(介護保険制度の要介護2以上の期間)を除いて算出しています。
15	パブリックコメント	8ページ 20ページ	第1章 2 健康寿命の延伸 第3章 2 健康寿命の延伸への対応	健康寿命の延伸については「生活習慣病が課題」、またその対応について「市民一人ひとりが自立的に健康づくりに取り組むよう行動変容を促す環境づくりが重要」であれば、市役所が率先して敷地内全面禁煙としてください。喫煙による超過医療費が大きな負担となっています。これは、たばこ税収入を軽く上回ります。喫煙率を下げるのが、健康寿命の延伸に最も効果的です。	医療のまちづくりビジョンの関係する計画として「健康いこま21」に、ご意見と関連した項目が挙げられ、主な取組が記載されています。ご意見の内容についても、健康いこま21の取組と整合を図りつつ、この取組を推進していきます。	原案のとおりとします	—

No.	意見箇所			意見の概要	意見に対する本市の考え方	修正箇所	修正内容
16	パブリックコメント	13ページ	第1章 これからの10年で生じる大きな環境の変化と課題(図表21)	表題は後期高齢者1人当たりの医療費の推移とし、国民健康保険の1人当たりの医療費も示すと社会保障関係費の増加と高齢化の関係が分かりやすいのでは。	ここでは、高齢化の更なる進展を課題の一つとして挙げていることから、後期高齢者の医療需要傾向を示すために、後期高齢者1人当たりの医療費の推移を表記しています。	原案のとおりとします	—
17	パブリックコメント	16ページ 19ページ	第2章 第3章	1ページの基本理念の削除を求めたので、案の2章は削除。 1ページに追加提案した「医療に関連した分野の課題」については、第3章として、新たに「医療に関連した分野の課題の具体的な対応」をつくり、その内容としては、案の第2章と第3章から、具体的な対応を抽出されてはどうでしょうか。	第2章の基本理念は、今後予測される社会情勢の変化や課題に対し、幅広い分野の関係者が解決に向けた方向性について共通認識を持って、まちづくりを行うことを想定しています。	原案のとおりとします	—
18	パブリックコメント	17ページ	第2章 1<その他の社会的な課題への感度を高めます>	発達障がいなどへの社会不安の高まり、不登校児の増加…発達障がいや社会の不安を高めているように受け取れます。⇒「発達障がい・不登校児童の増加」としてはどうでしょうか。	ご意見を踏まえ表記を修正します。	17ページ2行目	「発達障がいなどへの社会不安の高まり、」を「発達障がい（神経発達症）などへの対応、」とします。
19	パブリックコメント	23ページ	第3章 5 地域医療提供体制の整備 (2), (3)	市民が安心して子どもを産み育てられる医療体制が重点課題に挙げられていましたが、その医療を支えている医療従事者が安心して子どもを産み、育てながら仕事を続けられる環境整備についても考えてもらいたいです。私自身は、独身時代は病棟の看護師として勤務していましたが、残業は月20時間は当たり前、正職員の場合は夜勤ありなど、到底子どもを育てながら働けるような環境ではなかったです。そのような環境のため、病棟で働いている看護師は独身&20代の新人職員で、30代のスタッフの多くは結婚して退職していきます。新人職員+管理職数名で働いていることも多く、看護師の質という面でも課題があると感じていました。私は生駒市立病院で働いていたわけではないですが、生駒市のまちづくりビジョンとして生駒市立病院の医療体制について課題にがあるというのであれば、そこで働いているスタッフの方と長く働き続けるためにどういう仕組みづくりをしていけば良いか一緒に考える必要があると思います。	働く方々の環境整備については、大事なことと認識しています。第2章「これからの医療のまちづくりを進めるための基本理念」に医療スタッフの確保のための環境整備等を挙げ、第3章「社会変化や課題への具体的な対応」にも記載しています。 医療のまちづくりビジョン策定後は、病院を始めとする関係者に本書の内容を周知し、長く働き続ける仕組みを検討していただけるよう推進します。	原案のとおりとします	—